

宗祖御遠忌記念事業

高山別院本堂等御修復 【第一期工事】 本堂屋根葺き替え

4月中旬工事着工・10月末竣工予定

御遠忌記念事業の第一期工事として予定されている、本堂屋根葺き替え工事及び庫裡改修工事につきましては、去る2月3日、施工業者選定のための入札が行われ、入札に参加した6社中、最低価格であった(株)中村社寺が落札しました。

入札結果については、御遠忌委員会統括本部及び院議会で報告のうえ承認され、公告及び申立期間満了の後、宗派に上申決裁を得るなど諸手続きを経て今月中に正式に契約がなされる予定です、4月中旬の工事着工を目指します。なお、工事の完了は今年10月末を予定しています。

落札価格 ￥86,000,000円 (税込価格：92,880,000円)

設計見積価格 ￥88,528,000円 (税込価格：95,610,240円)

【(株)中村社寺】

本社：愛知県一宮市城崎通7丁目4番地3

創業：天禄元年(西暦970年) 法人設立：昭和23年12月23日

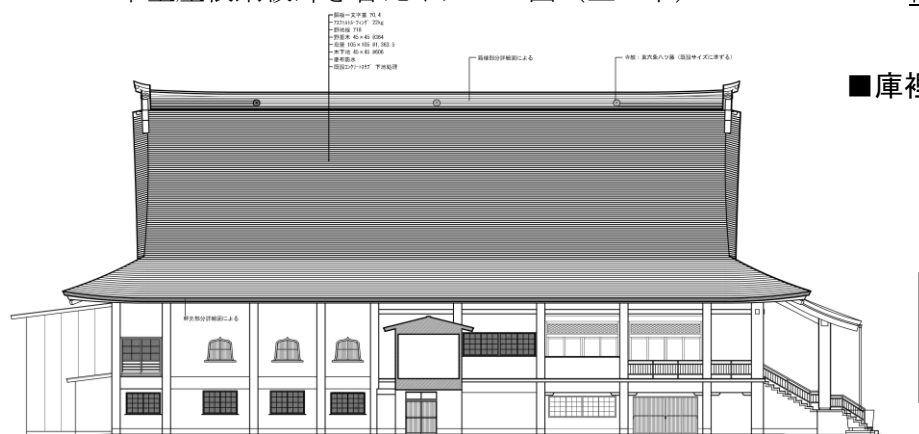
資本金：一億円 代表取締役会長：刀根健一 代表取締役社長：加藤雅

親会社：(株)金剛組 ※平成19年9月、高松建設を中心とするGWA (Green Wood Alliance) 参画。

【実施設計図書の概要について】



本堂屋根銅板葺き替えイメージ図(上・下)



■本堂屋根葺き替え工事(葺き工事内容:上部から)

銅板一文字葺 ア0.4mm

アスファルトルーフィング(防水シート)

22kg

野地板 ア18mm

野垂木 45×45 @364mm

母屋 105×105 @1,820mm

母屋受け 105×105、60×105

@950mm(交互)

既設コンクリートスラブ 下地処理

他、避雷針敷設・切妻面塗装

■庫裡改修工事

庫裡御殿の旧茶室を便所に改修

既存水屋を改修

工事期間中は、ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

【本堂屋根葺き替え工事・庫裡改修工事計画工程】

4月中旬～5月上旬	仮囲・外部足場組	
5月上旬～6月上旬	屋根瓦撤去工事	
6月上旬～8月中旬	屋根下地組・木下飼いモルタル(合番作業)	
7月中旬～9月末	屋根銅板葺き工事	
9月上旬～9月下旬	妻塗装・避雷針設置	
8月中旬～9月末	庫裡改修工事	
10月上旬	外部足場解体	10月末 検査・竣工・引き渡し

【施工業者の選定手続き】

<2015年>

9月16日 記念事業部会

実施設計図書の作成及び入札業務を行うため、記念事業部会内に作業部会として工事専門委員会を設ける。委員は幹事・副幹事・責任役員・副議長・正副門徒会長・設計士・事務局長の13名。

11月4日 第1回工事専門委員会

実施設計(庫裡工事)の検討。

業者発注に関する手続きを行う上で、専門的見地から助言いただける方を参考人(御遠忌委員会規則第10条)として招聘することについて検討がなされる。

11月12日 第2回工事専門委員会

実施設計(庫裡工事)の継続検討。特に、庫裡便所について検討。参考人として、寺境信弘氏、栃原章氏にお願いすることを決定。次回からご出席いただくことを確認。

寺境信弘氏(高山一組 円龍寺)現職:一般財団法人 高山市福祉サービス公社 事務局次長

栃原 章氏(高山一組 本教寺)現職:一般財団法人 高山市施設振興公社 事務局長

12月8日 第3回工事専門委員会

参考人として寺境信弘氏、栃原章氏にご出席をいただく。
<実施設計について> 最終確認のための実施設計図書及び設計見積書が提出され検討。
<入札について> 入札については「指名競争入札」で行うことで決定。指名業者については、県及び市の業者ランクを参考にし、また、本山への意見聴取並びに教区内屋根改修工事の実績等も勘案しながら、記念事業部会幹事及び事務局において選考を行う。なお、公平公正さを担保する観点からも、大手ゼネコンや寺社建築専門業者も含めて、幅広く選考の対象とすべきとの意見が出される。

12月25日 第4回工事専門委員会

<実施設計について> 第一期工事設計図書を最終確認し了承する。現地視察(一組、照蓮寺二組、玄興寺)を実施。

<入札業者について> 入札指名業者については、幹事及び事務局長で選考を行い、選出した6社を報告。決定内容について記念事業部会に最終報告することを了承。

<2016年>

1月8日 記念事業部会

工事専門委員会での了承内容(実施設計図書・入札業者及び入札手続き)を報告。承認。記念事業部会後、第5回工事専門委員会を開催し、入札手続きについて最終確認。入札指名業者に通知を行う。

1月13日 入札指名業者6社に設計図書送付。

1月18日・19日 現場説明会実施(希望のあった4社)

2月3日 入札及び開札を実施

執行者:出雲路事務局長 係員:石井別院会計・三枝囑託 立会人:設計士・記念事業部会正副幹事
入札結果:2回目の入札で(株)中村社寺が落札(落札候補者)。

落札額:¥86,000,000円(設計見積価格:¥88,528,000円)【共に税別】

<第1回目入札結果> (株)中村社寺:95,000,000円、A社:106,920,000円、B社:107,892,000円
C社:122,040,000円、D社:130,680,000円、E社:138,240,000円

<第2回目入札結果> (株)中村社寺:92,880,000円 A・B・C・D・E 5社は辞退

2月3日 統括本部・記念事業部会合同会議 落札業者「(株)中村社寺」を報告。

2月4日 院議会 境内地の模様替えについて承認

2月5日～16日 公告期間(本堂に貼り出し)

2月16日～3月15日 申立期間(申し立ては無し)

御遠忌・御修復の歩み 2015年10月～2016年3月18日まで

御修復第一期工事関係の動きについては本紙3頁をご覧ください。

<2015年>

10月 1日 第4回 御遠忌委員会統括本部

- 「御遠忌基本計画書（案）」及び「御遠忌特別会計予算（案）」を審議。議決（賛成多数）
- 御遠忌期日を2019年5月10日（金）～12日（日）を第1案としてすることを決定。
- 各組巡回の実施及び御遠忌御修復決意集会の開催について確認。

<統括本部の確認内容をもって各組説明会を実施—10月中>

10月15日 清見組〈会場〉了徳寺

10月20日 朝高組〈会場〉長圓寺・荘川組〈会場〉黒谷公民館

10月26日 二組〈会場〉御坊会館 10月27日 白川組〈会場〉明善寺

10月29日 益田組〈会場〉御坊会館 10月30日 一組〈会場〉御坊会館

10月30日 第5回 御遠忌委員会統括本部

- 各組説明会について報告、これを受け「御遠忌基本計画」の原案通り進めることを確認。
- 「御遠忌基本計画書」趣旨文について最終確認し決定する。

11月3日 御遠忌御修復決意集会

- 報恩講結願日中後に開催。「御遠忌基本計画」について概要説明を行い、御遠忌・御修復に向けての決意を固める場として開かれる。約400人の方にご出席いただき、まず、御遠忌委員長による決意表明、江馬耀準氏（益田組光雲寺住職）、古瀬かよ子氏（二組玄興寺門徒）、白尾匡氏（朝高組長圓寺）から、「御遠忌に臨むにあたって」それぞれ所信をお話いただく。



御遠忌に臨むにあたって 白尾氏

11月 4日 第2回 御遠忌委員会総会

- 「御遠忌基本計画書」及び「御遠忌特別会計予算」を議決。（賛成多数）
- 御遠忌推進委員会規則の変更→統括本部委員に組長を加え、定数を20人から25人に変更。

12月 3日 院議会臨時会 「御遠忌基本計画書」及び「御遠忌特別会計予算」を議決。（全会一致）

12月 9日 教区会臨時会 「御遠忌基本計画書」及び「御遠忌特別会計予算」を議決。（全会一致）

12月11日 教区門徒会臨時会 「御遠忌基本計画書」及び「御遠忌特別会計予算」を議決。（全会一致）

12月21日～26日 「御遠忌御修復御依頼状」・「ひだご坊特別号」を各寺院へお届け

<2016年>

1月20日 「ひだご坊特別号」新聞折り込み

2月1日～29日 全寺院へご懇志お願い挨拶 御遠忌委員会事務局長・統括本部委員・事務局員

3月16日 法要教化部会

- 御遠忌法要式支配の決定について。
- 御遠忌法要日程中における同朋唱和について協議。

3月18日 統括本部・記念事業部会合同会議 工事着工にあたっての最終確認。（株）中村社寺同席

御遠忌・御修復懇志金収納状況のお知らせと御礼

御遠忌御修復懇志金の3月16日現在における収納状況について、次のとおり御進納いただいておりますことを報告いたします。尊い御懇念をお寄せいただきましたこと厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

収納総額 50,328,000円（収納率12%）

【内訳】 御遠忌御修復懇志金	40,628,000円（4億円）	（ ） 予算額
住職・寺族懇志金	4,900,000円（1,580万円）	
特別懇志金	4,770,000円（500万円）	
一般懇志金	30,000円（200万円）	



高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人御遠忌通信

—宗祖御遠忌法要教化・本堂等御修復工事 推進—



第3号 2016年3月18日 <発行> 高山教区・高山別院 宗祖御遠忌推進委員会

宗祖御遠忌法要厳修 高札立柱式を執行

宗祖御遠忌・別院本堂御修復に向けて

3月3日（木）、2019（平成22）に厳修が決定した教区・別院 宗祖御遠忌法要をお知らせする高札の立柱式が、別院山門前において執り行われました。

当日は朝まで雪模様でしたが、立柱式のころには雪もやみ、穏やかな初春日和の中で執り行われました。

立柱式は、嘉念坊上人のご法要に先立って行われ、約七十人の方に参列をいただきました。まず初めに、高札の除幕が行われ、その後、宗祖御遠忌・別院本堂御修復に向けて歩みだすことの決意をお伝えすべく、御遠忌員会委員長の窪田哲氏、高山別院輪番の出雲路善公から挨拶がありました。

別院を訪れる方に、宗祖御遠忌、そして別院本堂御修復をお知らせする形が整えられました。

この度の高札については、本体の製作、寄付を石田幹雄氏（高山一組真蓮寺門徒）に、文字の筆耕を上野潔氏（高山一組本教寺門徒）にさせていただき、立派な高札を立柱することができました。



※ 高札とは、本山をはじめ別院や寺院で、御遠忌など大きな法要が勤まることを厳かにお知らせする立て札で、宗祖御遠忌法要に向けての邁進していくことを表明していくもの。

